

様式第1号（第6条関係）

年 月 日

大阪府 AI オンデマンド交通モデル事業費補助金補助事業計画書

大阪府知事 様

住 所

申請者名

標記について、以下のとおり関係書類を添えて提出します。

1 実施体制

交通事業者	事業者名			
	所在地			
	担当部署			
	担当者役職・氏名			
	電話番号		E-mail	
自治体 1	市町村名			
	所在地			
	担当部署			
	担当者役職・氏名			
	電話番号		E-mail	
自治体 2	市町村名			
	所在地			
	担当部署			
	担当者役職・氏名			
	電話番号		E-mail	

※ 補助金の申請主体に関わらず、上記情報について記載ください。

※ 複数の交通事業者が協議会等に参画する場合は、実装時に運行主体となることを想定している交通事業者を記載ください。

※ 複数の自治体で実施する場合は、共同実施するすべての自治体を記載ください。欄が不足する場合は適宜追加ください。

2 事業計画

<p>(1) 事業名称</p>	<p>〇〇〇市〇〇地区 AI オンデマンド交通導入に向けた実証事業</p>
<p>(2) 事業実施地域</p>	<p>〇〇〇市〇〇、▲▲、△△地区 など</p>
<p>(3) 事業実施期間等</p>	<p>事業の着手及び完了予定日 令和5年7月 ～ 令和6年3月</p>
<p>(4) 事業実施の背景</p>	<p>① 実施地域の概況、公共交通の状況等 実施地域は、昭和40年台にニュータウンとして開発された住宅地で、近年、高齢化と人口流出により、従前から運行している路線バスの利用者が減少し、その運行の維持が困難な状況。 また、バスの運行間隔も長く、交通の利便性は決して高くない状況である。 このような状況を打破するため、新しい交通手段である AI オンデマンド導入をし、地域交通の利便性を確保するとともに、まちの活性化にもつなげていく。</p> <p>② 事業を実施する背景 ア) 実施地域で発生している交通に関する課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 既存の路線バスの利用者が減少し、運行維持が困難。 ● 利用者の観点からは、交通の利便性は決して高くない状況 ● まちの再生のため、地域交通の改善が求められている。 イ) 課題を引き起こしている要因 <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化、人口流出により移動需要が減少 ウ) AI オンデマンド交通導入による解消する課題や期待する効果 <ul style="list-style-type: none"> ● 生活圏の移動の充実（買い物や通院がしやすくなる。役場・公共施設へ行きやすくなる。） ● 〇〇電車、△△路線への接続が便利に（乗換えの待ち時間の減少） ● 〇〇総合病院、〇〇ショッピングセンターへのアクセス充実 ● 人口流出に歯止めがかかる ● 〇〇山エリアへの観光移動需要への対応 等 </p> <p>③ 地域の交通計画等との関係（位置づけ等） ア) 地域公共交通（網形成）計画 <ul style="list-style-type: none"> ● 令和〇年3月に策定済み。 ➡事業地域を新たな交通手段検討地域に位置付け イ) 立地適正化計画／都市計画マスタープラン 等 <ul style="list-style-type: none"> ● 令和〇年度策定予定。 ➡事業の必要性を盛り込んだ計画を策定予定 ウ) その他の計画 <ul style="list-style-type: none"> ● 平成31年3月に〇〇市交通ビジョンを作成 ➡新たな交通手段導入をめざすことを位置づけている。 ● 令和〇年度に〇〇市スマートシティ戦略を策定予定 ➡〇〇地区への AI オンデマンド交通導入を位置づける予定 </p>

(5)
事業の実施内容
(令和5年度の内容)

※文字の他、図やイラスト、別添資料を用いても構いません。

① 事業エリア／事業エリアの面積／事業エリアの人口・構成

エリア図
○○ha

人口 ○○○人
人口構成表

90歳以上	
80～89歳	
70～79歳	
……	
20～29歳	
10～19歳	
0～9歳	

② 運行の時期

令和5年9月 ～ 令和6年3月

③ (令和5年度) 事業の狙い・目的

令和5年度の実証実験は、令和6年度以降の実装を想定し、有償での運行サービスを実施する。併せて、運行以外での利用促進策の実証も行い、持続できる運行スキームの方向性を見出す。

④ 事業に用いる車両と車両台数

ワンボックスタイプ車両 運転手を入れて9人乗り 2台を予定

⑤ 利用促進策（他の交通手段との連携、交通分野以外のサービスとの連携、MaaSサービスの実施など）

AI オンデマンド交通の予約アプリを構築するという特性を活かし、移動の目的地情報として、地区内の施設・店舗の情報や予約サービス、お得サービスを提供するなど、利用促進策も併せて行う。

<連携項目>

- 路線バス、コミュニティバス、地元タクシー、シェアサイクルなどの各種交通モードの検索・予約、決済と連携
- 診療所、薬局や市民運動場等の予約 をできるようにする。

⑥ 事業に関するPR・周知の方法

本事業を成功させるため以下の取組みを実施する。

- アプリ登録など説明会 3回
- 個別相談会の実施 2週間×2回
- チラシ・ポスターの作成、
- チラシの全戸配布 3回
- PR動画の作成
- WEB広告による情報発信
- その他 地域の機運醸成の状況をみて必要なPRを行う。

**(8)
実装に向けた戦略
とスケジュール
(実装の実現性)**

令和6年度までの実装に向けた戦略と想定スケジュールを記載してください。
 ※スケジュールは実証運行、他の交通事業者との調整、地域公共交通会議、近畿運輸局の手続きを中心に記載してください。上記の(7)事業のスケジュールと重複があっても構いません。別紙での作成も可能です。
 ※協議会等に複数の交通事業者が参画する場合は、実装時に運行主体となることを想定している交通事業者を明記し、そのうえで、戦略やスケジュールを記載してください。

【戦略】

- 令和5年度の実証実験は、実装を想定し、有償での運行サービスを実施。併せて、運行以外での利用促進策の実証も行い、持続できる運行スキームの方向性を見出し、ここで得た知見を踏まえて、令和6年度の実装に繋げていく。

【スケジュール】

項目 \ 年度	R5			R6		
運行期間						
システム 構築・改修						
利便性・収益性 向上策の検討						
住民調整						
他交通事業者 調整						
地域公共交通 会議						
近畿運輸局の手 続き						

※上記は例示です。地域の実情にあわせて記載ください。

**(9)
実装後の事業の継
続性**

実装後の事業継続に向けて、利用促進や収益性向上の取組み、市町村施策との連携などの検討状況や検討予定などを記載してください。

(例)

[利用促進・利便性向上に関する取組み]

- AI オンデマンドの予約アプリに、地区内の施設・店舗の情報や予約サービス、お得サービスを提供するなど、利用促進を図る。
- 鉄道会社と連携し、鉄道がセットとなった割引切符を設定するなど利用促進を

	<p>図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グループ会社の●●●社と連携し、●●●といったサービスを実施し、利用促進を図る。 ● 路線バスとの乗り継ぎ割引等を設定し、移動の利便性向上を図る。 ● 地域の大手スーパーと連携し、定期的にイベントを開催し、移動そのものの機会を増やす。 <p>[収益性の向上に関する取組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 収益性向上のため、車体広告やアプリによる広告などを積極的に掲載し、運輸以外の収入も確保していく。 ● 乗降ポイントを設置する店舗さんから、協賛金を貰うなど、地域サポート制度を設け、運行費用に充当する。 ● AI オンデマンド交通の導入に合わせ、路線バスや福祉輸送を再編し、収益性を高める。 <p>[運行コスト縮減に関する工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ○○○ ● 市内の運行エリアを随時拡大し、単位面積当たりの運行コストを縮減させる。 <p>[○○○に関する取組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ○○○
<p>(10) 事業の横展開の予定など</p>	<p>交通事業者における AI オンデマンド交通事業に対する本事業エリア以外への今後の展開予定や取組みの方向性を記載してください。</p> <p>※経営計画上の位置付けがあれば、可能な範囲で記載ください。</p> <p>※経営計画上の位置付けがない場合は、今後の取組みの方向性や展開見込みなどを自由に記載ください。</p> <p>※複数の交通事業者が協議会等に参画する場合は、実装時に運行主体となることを想定している交通事業者を明記し、そのうえで、横展開の予定などを記載してください。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中期経営計画 (or 経営ビジョン) に、新たなサービスの展開のひとつとして、AI オンデマンド交通導入を位置づけ。 ● 今回、共同で応募した○○○市のほか、2市町村と AI オンデマンド交通導入について勉強会を実施中。 ● ○○県で既に複数箇所を展開しており、大阪府域においても、自治体と連携しながら広く展開していきたい考え。 ● 府内の n 箇所に営業所がある。営業所のある自治体からの要請に応じて、AI オンデマンドの導入について積極的に検討していきたい。 ● ○○○○

3 経費配分案

(1) 経費配分案

補助対象経費 [= ①+②+③+④+⑤] 内訳は、次表による	22,000,000 円	補助事業申請額	8,500,000 円
--------------------------------------	--------------	---------	-------------

(単位：円)

経費区分	細目	補助事業に要する経費	補助事業申請額	備 考
(例) 運行及びシステム導入にかかる費用				うち 1,000 千円は運賃収入充当予定
	小計①	9,000,000	4,000,000	
(例) 利用促進サービスにかかる費用				うち 4,000 千円は国費充当予定
	小計②	8,000,000	2,000,000	
(例) 実験周知にかかる費用				
	小計③	3,000,000	1,500,000	
(例) 実験結果検証費用				
	小計④	2,000,000	1,000,000	
(例) ○○○にかかる費用				
	小計⑤			
合計=①+②+③+④+⑤		22,000,000	8,500,000	

※補助事業申請額は補助事業に要する経費から公的補助金額等を差し引いたものの2分の1以内とする。

※公的補助金等とは、大阪府以外からの公的補助金及び運賃収入とする。

(2) 補助金以外の経費負担 (補助事業の経費のうち補助金で賄われる部分以外に関する経費)

負担者	○○○○協議会	負担方法	○○交通+○○市+○○大学
負担額	※補助事業に要する経費－他の補助金等－本補助事業申請額＝負担額 22,000 千円 - 4,000 千円[国費] - 1,000 千円[運賃収入] - 8,500 千円[府補助金] = 8,500 千円		
負担額の予算措置の状況	[○○交通株式会社] 令和5年度 予算 1,500 千円		

況	<p>[〇〇市] 令和5年度 当初予算 5,000 千円 (or 令和5年度 〇月補正予算を要求予定で、財政部局とは合意済み)</p> <p>[〇〇大学] 令和5年度 新交通システムに係る研究費予算 2,000 千円</p>
----------	--

4 他の補助金等の申請状況について

同一事業で、国や地方公共団体、独立行政法人等の公的な補助金・助成金等について申請中又は申請予定の場合は、その名称等を記載してください。

(大阪府の他の補助制度を受けている場合、又は受けることが決まっている場合は、応募することはできません。)

公的な補助金・助成金等の名称等	〇〇省 △△補助金 (採択済 : 4,000 千円)		
申請 (予定) 日	令和5年4月16日	交付決定予定日	令和5年5月10日

※事業概要説明資料 (ポンチ絵等の事業概要が簡潔にわかる資料等) を添付してください。